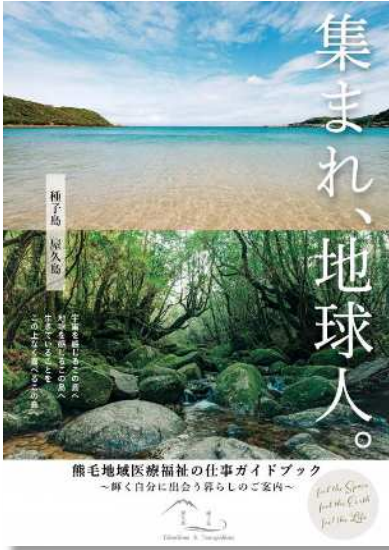


一 熊毛地域医療・福祉人材確保キャラバン事業 一



《目的》

県と熊毛地域の医療機関・福祉施設等が合同で本土の専門学校等を訪問し、学生等に直接、熊毛地域で働く魅力等を伝えることにより、医療や福祉分野の人材確保を図る。

《コンセプト》

令和5年度に作成した人材確保のパンフレットや動画に登場する職員などと共に学校を訪問し、自らの言葉で「熊毛地域の医療機関や福祉施設で働くこと」や「熊毛地域で暮らすこと」の魅力をアピールする。

《ターゲット》

- ・大学生〔社会福祉学部〕
- ・専門学校生〔看護、介護福祉学科〕

● 説明を受けた学生の声（アンケート結果抜粋）



令和6年4月26日（金）
赤塚学園看護専門学校
看護学科3年生（37人）

- 今まで島で働くことは頭の片隅にもなかったが、今回の説明会で島で働いてみることもいいなと思った。
- 島の魅力や仕事の離島なりの良さがとても伝わり、仕事内容も充実しているように感じた。また、サーフィンなど休日の過ごし方に魅力を感じた。将来、たくさん経験した後に、島に移住し働くこともありだと感じた。
- 人材不足の大変さが分かった。種子島に残って働く魅力など思いが強いなと感じた。



令和6年5月24日（金）
鹿児島国際大学
社会福祉学部3，4年生（38人）

- 島で仕事をされている方の話を聞くのは初めてで新鮮だった。地元の方が多くと思っていたが、地元以外の方も働いている方もいると知り驚いた。
- 島で働く仕事のやりがいを知ることができてよかった。将来の選択肢の幅が広がった。
- 種子島・屋久島ともに、小さい島であるからこそ人と人の距離が近く、住んでいる人が温かいことを知った。住んでいる方にしか分からない地域の雰囲気を知ることができて良かった。
- 島での医療福祉は、大変そうなイメージが強かったが、本土とも変わりがないことを知った。

◆ 皆さんからの質問

- Q 種子島、屋久島でおすすめの食べ物は何か？
A くびおれさば（魚介類）やジェラートなど。
- Q 島の方言で困ったことがあるか？
A 最初は何を言っているのか分からなかったが、接しているうちに理解できるようになった。



令和6年7月19日（金）
鹿児島医療技術専門学校
看護学科2年生（68人）

- 離島医療の大切さについて初めて話をきく機会が得られて良かった。就職先に迷っているのでも、種子島・屋久島に就職することも一つの選択肢になった。
- 種子島で働きたい！
- 時間があつという間でした。自分の意志で選べるようになったら、島も考えてみようと思う。



令和6年7月23日（火）
鹿児島医療福祉専門学校
介護福祉学科1，2年生（29人）

- 種子島に福祉施設があることにびっくりした。
- 離島での介護の仕事は、本土とは違うところがあるのかなと思っていましたが、そういったことは全くなく、むしろ、離島ならではの良さもあり、とても働きやすいところだと思った。



令和6年7月25日（木）
鹿児島医療福祉専門学校
看護学科2年生（52人）

- 実際に働いている方の話を聞き、ライフワークバランスの充実性に魅力を感じた。
- 島で働く興味は全くなかったが、今回の説明会を聞いて、人と人の距離が近く、仕事とプライベートを両立させることができる働き方に魅力を感じた。

熊毛地区で働く魅力について **224**人の若い学生が熱心に耳を傾けてくれました。

この事業に関するお問い合わせは

鹿児島県 熊毛支庁 保健福祉環境部 地域保健福祉課
〒891-3192 西之表市西之表7590番地
TEL：0997-22-1830 FAX：0997-22-0050
MAIL：kumage-chiiki@pref.kagoshima.lg.jp

■ 熊毛地域医療福祉の仕事ガイドブック

「集まれ、地球人。」は
二次元バーコードから御覧いただけます。

